

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	50週	49週	第50週		第49週		第50週		第49週		第50週		第49週		第50週		第49週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	1611	1063	89	131	70	79	42	62	52	31	1	17	0	29	46	52	18	19
咽頭結膜熱	57	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	192	174	29	0	24	0	19	0	10	0	1	0	3	0	9	0	11	0
感染性胃腸炎	136	135	30	35	36	10	26	10	35	5	0	18	0	5	4	7	1	0
水痘	33	26	9	20	13	6	9	15	12	6	0	0	0	0	0	5	1	0
手足口病	30	37	3	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0
伝染性紅斑	75	69	17	3	34	0	7	1	16	3	0	0	0	0	10	2	18	3
突発性発疹	21	23	3	0	5	0	3	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	36	37	6	0	2	0	1	0	2	0	0	0	0	0	5	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	10	9	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

県中地域の状況

流行中
小流行中

現在、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・水痘・伝染性赤斑・RSウイルス感染症の流行が続いています。

現在、インフルエンザの小流行が続いています。

インフルエンザの流行に備えましょう

① 流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは、感染後に発症する可能性を低減させる効果と、発症した場合の重症化防止に有効と報告されています。

② 飛沫感染対策としての咳エチケット

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染です。咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、また、咳やくしゃみなどが出るときはできるだけマスクをするなど、普段から咳エチケットを心がけてください。

③ 外出後の手洗い等

流水・石鹸による手洗いは、手指など体についたインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、インフルエンザに限らず接触や飛沫感染などを感染経路とする感染症の対策の基本です。また、インフルエンザウイルスはアルコールによる消毒も有効であるため、アルコール製剤による手指衛生も効果があります。

④ 適度な湿度の保持

乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度（50～60%）を保つことが有効です。

一緒に予防 インフルエンザ



○県中管内ではインフルエンザによる学級閉鎖も！

インフルエンザ施設別発生状況の調査によると、第50週で休校0校、学年閉鎖1校、学級閉鎖1校となっています。

この情報に関するお問い合わせ先：県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム

TEL: 0248-75-7818 E-mail: kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp